

第 1 1 回 向日市上下水道事業懇談会 議事録

日 時 : 平成 2 2 年 5 月 1 3 日 (木) 午後 2 時から午後 5 時まで
場 所 : 向日市役所 大会議室 (3 F) ・洛西浄化センター
出席者 :
(委 員) 吉川会長、井垣委員、五十棲委員、楠本委員、佐藤委員、永井委員、
西田委員、吉田委員
(事務局) 大島上下水道部長、齋藤上下水道部参事兼下水道課長、柴崎営業課長
高田上水道課長、松本浄水場長、中村浄水場主幹、山田下水道課主幹、
八木営業課主幹、南口営業課係長、鹿島営業課係長、野関営業課主査
傍 聴 : 1 名

1、あいさつ

2、議事

【平成 2 2 年度向日市下水道事業特別会計予算について】

事務局 (平成 2 2 年度向日市下水道事業特別会計予算についての説明)

委員 下水道使用料を平成 2 1 年 1 2 月から値上げしましたが、経営状況にはどうなったのでしょうか。

事務局 年間 9 0 0 0 万円程度の使用料増を見込んでおります。平成 2 2 年度は 2 1 年度と比較して 6 0 0 0 万円程度の使用料増を見込んでおり、一般会計からの基準外繰出金を半分程度減らすことが出来ると考えております。

委員 石田川 2 号関連の工事はどのような状況なのか。

事務局 石田川 2 号幹線のトンネル工事は平成 2 1 年度で完了しました。それに付随し、トンネルに水を取り込む分土工を設置する工事が平成 2 1 年度で事業を終える予定でありました。3 箇所の工事は予定どおり完成しましたが、1 箇所の工事は当初の予想を大きく超える地下水の流出があったため平成 2 2 年度に事業を繰越しました。分水施設につ

きましては、平成22年度中に完成する予定であります。石田川2号幹線の供用開始につきましては、京都府が進めております接続管渠の完成を待って、平成23年度の秋頃になると考えております。

【平成22年度向日市水道事業会計予算について】

事務局

(平成22年度向日市水道事業会計予算についての説明)

委員

不納欠損金が急激に増加しているように感じるのですが、何か理由があるのでしょうか。

事務局

急激ではありませんが、不納欠損金は増えてきております。停水等に力を入れて取り組みましたので、今年度の決算の不納欠損の金額は見込んでいたより減少すると思います。

委員

水道料金が2,731万円減少するということは、どういう意味でしょうか。

事務局

前年度に比べて、水道料金の収入が2,731万円減少すると見込んでいるということです。

委員

水道の使用量が減少してきているのはどうしてでしょうか。

事務局

節水型社会になってきているということが考えられます。節水機器の発達や、少子高齢化等があげられます。また生活様式の変化も考えられます。

委員

給水人口はどのような状況でしょうか。また1人あたりの使用水量はどのような状況でしょうか。

事務局

給水人口は近年では横ばいの状態が続いております。また1人あたりの使用水量も、昔に比べ人口が増えたが使用水量が減っているため、減少しております。

委員

留保資金の仕組みを教えてくださいませんか。

事務局 例え、5年間使える100万円の設備に投資を行います。投資するにあたり、資本的支出の中で100万円を計上します。次に、5年間・20万円ずつを収益的収支の中で費用化していきます。5年後、収益的収支で100万円を費用化しているの、この分の現金をプール出来ます。この現金を持って、新たな設備投資を行うことが出来ます。

委員 使用量が落ちていく中、どのような方向性を持って水道事業を運営されていくのでしょうか。

事務局 水量の減少は全国的な傾向であります。使用料の増加が見込めない中で、支出を抑えるしか方法はないと考えております。人件費の削減や、京都府に対して府営水道の単価の引き下げの要望、京都府からの補助金の活用や低金利の貸付の利用、浄水場の一本化等の経営努力を行っております。

委員 支出を抑えるということでしたが、下水道予算の中で15節の工事請負費が増えていました。これはどうしてでしょうか。

事務局 新しく道路が出来ることに伴い、新しい污水管に2500万円、その設計に500万円の経費を予算に計上しているためです。

委員 どこをみたら、耐震化の状況がわかるのでしょうか。

事務局 予算書・決算書の中では耐震化はわかりません。
向日市においては管の総延長が長く、古い管から少しずつ耐震管に替えていくという方法しかないのが現状であります。

委員 予算書30ページにあります配水管布設費の工事請負費は、耐震管を布設していくということで1メートル当たりの単価があがっていると考えるとよろしいでしょうか。

事務局 工事請負費の中のうち、大きな事業として国道171号線の工事に伴う水道管の移設工事があります。この工事の趣旨としましては耐震化とは異なりますが、一部は耐震管に布設替えを行うので、その部分に関しては単価が上がっておりますが、費用の全てではありません。

委員

予算、決算の説明を受けますが、施行過程や、積算方法がわかりません。支出を下げる中で工事費を下げるのが大切だと考えているのですが、これについてどのように考えておられますか。

事務局

水道会計に限らず、一般会計もより安く工事を行うために一般競争入札なども行っています。しかし、浄水場の委託等、水道事業の中には維持管理や安全性面から、毎年入札を行うことが困難なものがあります。そういったものに関しては3年契約にするといった対策をとっています。透明性を高め、安く出来るようにしていきたいと考えております。

委員

京都市では緊急遮断弁で水を停めて、地震の際余分な水が出ないような工夫をされているのですが、向日市は管の耐震化以外の取組みは行っていないのでしょうか。

事務局

一番大きな配水池に関しては、京都市と同様に緊急遮断弁を設けています。

午後3時20分から午後5時まで

洛西浄化センター 視察